

○社会的要請【北区教育大綱】
「地域社会の一員としての自覚のもと、自らの力で人生を切り拓き広く社会に貢献できる心身ともに健康で文化的な資質をもつ児童を育成する」
・確かな学力
・豊かな人間性
・健康や体力
・自ら学び、考え、行動する力の育成

基本理念

- 全ての教育活動は、子供のためにある。
- 全ての教育活動には意味があり、ねらいがある。
- 全ての教育活動は、人として自立し生活を豊かにする人生の基礎・基本を育む。

○児童の実態

- ・友達と話し合ったり考えを伝え合ったりして、自分の考えが変わったり考えに自信がもてたりする。72.3%。
- ・自分の考えを分かりやすく伝えようとする意識が高まっている。
- ・新聞の記事や物語文を読むことに慣れ親しんでいるが、読解力・表現力の個人差が大きい。
- ・あいさつができる児童が多い。
- ・上学年に下学年を思いやる態度が身に付いている。

目指す学校像

笑顔とあいさつのあふれる学校

- 子供が、明日また来るのが楽しい学校
- 保護者が、子供を通わせるのが安心な学校
- 地域が、誇らしく支援したくなる学校

目指す子供像（教育目標）

未来を生き抜く資質・能力を育む子供

- よく考える子【知】 すすんで表現し高め合う子
- 思いやりのある子【徳】
自分も相手(友達)も大切にして認め合い協力する子
- たくましく生きる子【体】
心と体が健康で、粘り強く取り組む子

目指す教師像

教育のプロとしての使命感・専門性をもつ教師

- 誠実で細やかな対応で信頼される教師
- 授業で勝負し子供に学ぶ楽しさを味わわせる教師
- 教師力向上の意欲をもち、絶えず学び続ける教師
- 豊かな人間性と協調性をもち、協働する教師

卒業までに身に付けさせたい「未来を生き抜くための資質」

【い】 いいあいさつ いい返事『規範意識』【わ】 わたしもあなたも大切『人権感覚』【ぶ】 ふれ合い 伝え合い 仲よく『協力・協働』【ち】 力いっぱいチャレンジ『自己肯定感、自主・自立』

目標達成のための具体的な手だて

◎は重点項目

1. 確かな学力の育成

【知】 すすんで表現し高め合う子の育成

◎学習規律の徹底

- ・「岩小 学習しぐさ」の共通指導
- ねらい・見通し・振り返りを明確にした授業づくり（授業の始めに、ミニホワイトボードに学習の流れを明示する）
- 合理的配慮に基づいた特別支援教育
・壁面・黒板等のユニバーサルデザイン化
・コピールームや日本語教室との連携

◎読み取り、考え、伝え合う力の育成を目指した授業改善の推進

- ・児童の実態、各種学力調査の結果分析
- ・授業改善推進プランの作成と検証
- ◎語彙を増やし豊かな表現力を育てる言語活動の充実
・各種コンクールへの参加推奨
・N I E 教育の推進・朝の校長メッセージ（新聞記事から）
・読書活動 ・全校で俳句づくり
・第2回岩淵小俳句コンクールを実施・表彰

◎基本的学習内容の定着85%

- ・漢字・計算・九九等、家庭学習を含め反復学習の習慣化、漢字検定・英語検定の推奨(6年)
- 外国語活動の授業改善
- ◎G I G A スクール構想の具現化
・「きたコン」(学習用PC)の有効活用
・プログラミング学習の推進
・デジタル教材の授業・宿題での活用
○「岩淵小スタートカリキュラム」の実施

4. 環境教育・日本の伝統文化教育の充実 ～東京五輪のレガシー～

- ◎河川財団 河川基金を活用し、校内研究で「荒川フィールド学習」を通じた主体的・探究的な学習活動及び河川教育に取り組む。
- ◎荒川フィールド学習(全学年)
・荒川知水資料館・「水辺の会」の皆様と連携した、北区「こどもの水辺」での体験を通して、環境・防災について考え、学ぶカリキュラム。
1年：土手であそぼう・草花や虫となかよし
2年：そだてよう あそぼう 荒川のいきもの
3年：大好き 私たちのまち(水辺の会との交流)
4年：私たちの荒川(かいぼり体験・ヨシ刈り)
5年：荒川プロジェクトⅠ(水害への備え)
6年：荒川プロジェクトⅡ(荒川と私たちのくらし)
- ◎日本の伝統文化への理解
・俳句コンクール等への参加推奨
・日本の伝統文化への興味・関心を高める出前授業の計画・実施

2. 命と人権を守る心の教育

【徳】 自分も相手(友達)も大切にして 認め合い協する子の育成

- ◎人権感覚の醸成「わたしもあなたも大切」
・いじめアンケート等で早期発見、未然防止
・毎月末にいじめ予防対策委員会実施
- ◎思いやり、譲り合い、助け合いのできる人間関係づくり「ふれ合い 伝え合い なかよく」
・あらかわ班（縦割り班）活動
・年2回のQ U テストの結果分析・校内共有
- ◎あいさつ・返事・言葉づかいの指導の充実
「いいあいさつ いい返事」
・「あいさつのできる岩淵の子」、あいさつ運動、先言後礼、場に応じた話し方指導
- 特別の教科 道徳 の授業改善
- ◎学期に1回のスクールカウンセラーとの連携学習
・ソーシャルスキルトレーニング
・アサーション・アンガーマネジメント等
・S O S の出し方に関する教育
・いじめ防止に関する教育

5. 教育環境の整備・充実

安心・安全な環境づくり

- ◎規範意識の形成
・「岩淵小よい子の一日」を基に、安全に気持ちよく生活するため、ルール順守の大切さを理解させるとともに、自らすすんできまりを守る態度を育成。
- ◎感染症対策の継続
・ワクチン未接種児童に配慮し、手指消毒や給食配膳時のマスク着用等、感染予防の継続
- 命を守る、避難訓練・防災訓練
・青少年赤十字 災害学習プログラムの活用
・自分や人の命と健康を大切にする心を育む。
- セーフティ教室
・発達段階に合わせた系統的な指導
・地域・保護者とともに学ぶ機会の創出
・警察や東京都出前授業の活用
- 登校班指導の充実
・緊急時にもあわてない心構えづくり
・P T A ・各支部との連携
- 「地域安全マップ」の作成
・地域・警察等関係機関との連携
- 不審者対応マニュアルの徹底
・P T A と連携した公開時の安全確保

7. 働き方改革に向けた取組

- 最終退勤目標時刻を設定（20時）
・タイムカードでの教員の出退勤時間の管理
- 夕方から翌朝までの電話自動音声対応

- 休暇の取得を促進
・職を問わず年間5日以上年の年休取得の奨励
・ノー残業デーの設定（月2回）

- 教員の学級事務負担を軽減
・学校徴収金の銀行振込・北区による給食費の無償化
・きたコンからの直接回答方式による学校アンケート

3. 体力向上・食育の推進

【体】 心と体が健康で、 粘り強く取り組む子の育成

- ◎全校での体力強化チャレンジ
「力いっぱい チャレンジ」
・なわとびタイム
・マラソントime
・岩小持久走記録会
・長縄チャレンジ 等
- ◎よい姿勢の習慣化
・委員会児童から朝会等で呼びかけ
・1・5校時はじめに全学級で姿勢タイムの徹底
- 食育の推進
・ブックメニュー給食
・家庭科とのコラボ献立
- ◎いのちのコンサート(全学年・保護者)
・「道徳授業地区公開講座」
演奏 緑川 るみ さん（ピアニスト）
緑川 まり さん（声楽家）
頭部腫瘍治療の経験を通した「命の大切さ」
「諦めない心」について、お話とコンサートを予定
- 薬物乱用防止教室の実施（6年）

6. 開かれた学校

保護者・P T A ・地域・関係機関との連携

- サブファミリー校との連携推進
・赤羽岩淵中学校合同引き取り訓練(全学年)
・赤羽岩淵中学校 部活動・授業の体験(6年)
・ファミリーの日（年3回）
赤岩中と隣接小学校4校の教員が相互に授業を公開・参観し授業改善
- 教育活動についての積極的な広報活動
・ホームページの公開
・学年だよりの充実
- スクールバンドクラブ
クラブ活動「スクールバンドクラブ」が4年生以上で令和4年度より活動
- 吹奏楽体験活動（旧スクールバンド活動）
6学年が音楽の発展的学習として授業等で練習し、演奏の機会を設ける
- 読み聞かせボランティア
月に1回、火曜日に読み聞かせ
- 緑のボランティア
・令和4年度10月に発足
・地域・保護者と連携した栽培活動を通して、生命尊重や環境保全への意識を高める。